

# 個人の自由な移動とモビリティを考える



昨今、連日のように高齢ドライバーによる交通事故が報じられ、それに伴い免許証返納の動きも増加傾向にあるとの報道がされています。しかし大都市圏以外の地域においては、公共交通機関による代替が難しく、個人の移動手段として自動車はまだ不可欠な状況となっています。一方で、自動車に替わる移動手段によって地域の活性化につなげようとするプロジェクトも全国各地で展開され始めています。株式会社本田技術研究所はその牽引役として、これまで熊本市や高松市等において、地方公共団体や教育機関と連携し、シルバーカーを用いたプロジェクトを行っています。

今回は、それらプロジェクトの中心的役割を担ってきた矢口忠博氏を講師に迎え、各プロジェクトの概要や成果、そこから見えてきた課題等についてお話しいただきます。また「地域におけるモビリティ」をテーマに研究を進めている本学の齋藤和彦教授も交え、長岡市を含めた地方都市における新しいモビリティの可能性等について考えていきます。



## 矢口 忠博 氏

株式会社本田技術研究所 オートモービルセンターデザイン室 FPC (Future Product & Creation) シニアエキスパート

- 1954年 富山県生まれ
- 1977年 金沢美術工芸大学工業デザイン科 卒業  
㈱本田技術研究所入社 汎用デザイングループ配属
- 1992年 汎用開発センターデザイン室 マネージャー
- 2002年 同開発センター 企画第1ブロック マネージャー
- 2008年 ㈱本田技術研究所 未来交通システム研究室 の設立に加わる  
同研究室で2014年3月まで“産官学EV社会実証実験プロジェクト”に参画
- 2014年 ㈱本田技術研究所 4輪R&Dセンターデザイン室 FPC
- 2016年 東京モーターショー(10月)にて Wander Walker CONCEPT 出展
- 2017年 高松丸亀町商店街でタウンモビリティ実証推進(-2018年)
- 2019年 ㈱本田技術研究所 オートモービルセンターデザイン室 FPC 原宿ラボ  
シニアエキスパート デザイナー  
人と車のテクノロジー展 2019横浜(5月)にて ESMO CONCEPT 出展

# 2019 6.28 (金)

受付 14:30-  
15:00-16:15 矢口忠博氏講演  
16:15-16:30 齋藤和彦教授研究紹介  
16:30-17:00 対談、質疑・応答

申込：下記 URL より事前にお申込みください。

申込締切：6月27日(木)

<https://reserva.be/nidappform>

会場：NaDeC BASE ※ (長岡市大手通 2 丁目 3-1)

※NaDeC BASE (ナデックベース) は、2018年6月2日に旧大和長岡店ビルにオープンした、長岡市内大学・高専と市民・企業の活動交流拠点です。会場に専用駐車場はありませんので、公共交通機関または近隣の駐車場をご利用ください。尚、駐車料金は各自のご負担にてお願いいたします。

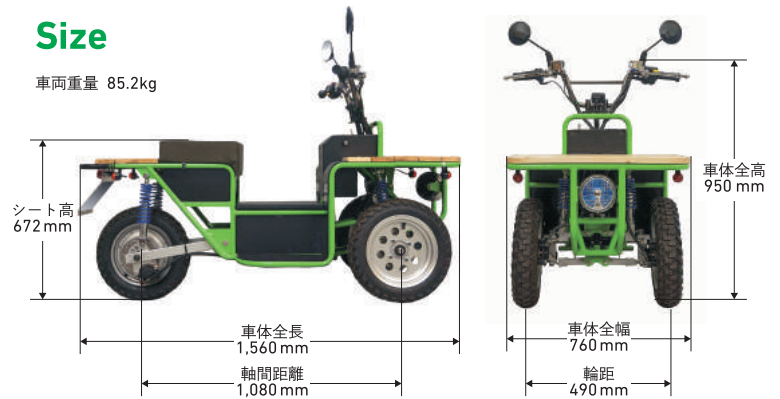
# 「地産地消モビリティ」プロジェクト

長岡造形大学では、地域が抱える課題に対し、デザインによって解決を図る様々なプロジェクトに取り組んでいます。

地産地消モビリティは、地域で創り、地域で乗る、地域のための電動モビリティ。齋藤和彦教授により、2014年にプロジェクトスタート。地元企業様等の協力を得ながら、部品製作や組み立て、走行テスト、展示会出品、デザイン改良等を繰り返し、2018年には2号機が完成。また同年、長岡市の原動機付自転車標識交付を受け、公道走行テストを開始する等、現在も研究を進めています。

## Size

車両重量 85.2kg



## 地産地消モビリティの特徴



1 自由にカスタマイズできる荷台は「ウッドデッキ」をイメージ

3 前輪を二輪・後輪を一輪の構成とした三輪車で、雪道でも乗れる安定感



4 跨ぎやすい低床フレーム。取り外して自宅で充電できるバッテリー内蔵



2 原付スクーターと同じ操作系

6 バック(後進)が可能。田畑の細い道にも入りやすい



5 後輪内にモーターを内蔵したインホイールモーター



地域の人が集まり交流し、つながりを持つことが地域の活性化にとって欠かせないことです。そのためには移動手段が必要となります。移動手段を地域で製作することができれば、産業の活性化にもつながります。そんな思いを込めてこのモビリティを提案しました。

Designer

齋藤 和彦 長岡造形大学プロダクトデザイン学科長/教授

専門分野はインダストリアルデザイン。Honda 四輪バギーシリーズ Fourtrax200, 200SX, 300, 300FW, 350, 400, 500Odyssey350R, Pilot400, 三輪バギーシリーズ ATC200X, 250R, 350X, 二輪車 Joker, NX125, Dio (インドデザイン賞 i-mark 受賞), Activa-i, Hero Honda (現 Hero Moto Corp) Passion Pro, Maestro, X-treme などを手掛ける。他に 近未来交通システム ICVS (グッドデザイン賞受賞) アシストサイクル共同利用システム HCP、次世代航空機用ピストンエンジン HAP、Honda Technical Review 執筆など。公益社団法人自動車技術会 デザイン部門委員会 委員。



地産地消モビリティの動画が見られます



公立大学法人  
長岡造形大学  
Nagaoka Institute of Design

